

5/25

二度と戦争をしないために 「明日へー戦争は罪悪であるー」上映会

洞 爺湖文化センターで、「明日へー戦争は罪悪であるー」の上映会（洞爺湖プロジェクト主催）が開催され、約100人が参加しました。

この映画は、第2次世界大戦中に反戦を訴え続けた僧侶の実際のエピソードを基に作られた作品です。

主催者を代表して挨拶した北島良人さんは、「戦争とは何か、大切なものとは何かを家族で話してほしいです」と力強く訴えました。



主催者の話に耳を傾ける観客

5/17

介護の体験や困りごとを語り合う 認知症カフェ

ひ じり在宅クリニック（岡本拓也院長）に併設する「みんなのカフェ」で認知症カフェが初めて開催され、約15人が参加しました。

岡本院長は、「同じ経験を持つ人たちが対話をし、情報を共有することが大切」と話し、今後ニーズに合わせたカフェの開催を予定しています。

参加者は、「認知症について理解を深めることができたので、また参加したい」と話していました。



語り合う参加者たち

5/30

園児たちと楽しいふれあい 芋植え交流会を行う

芋 植え交流会が、養護老人ホーム幸生園の畑で、とうやこ幼稚園の園児14人が参加して行われました。

約50平方メートルの畑に種イモ約80個を植え、秋の収穫を心待ちにしています。

引き続き、ふる里の丘総合福祉館内の地域交流スペースふれあい広場で、同園やケアハウスの入居者が参加して交流会が行われ、お年寄りたちは、園児たちの歌や手遊びの披露に目を細めていました。



芋植えを行う園児たち

5/25

三豊でトドマツ 400 本植樹 「コープ未来（あした）の森づくり」植樹祭

平 成27年に生活協同組合コープさっぽろと洞爺湖町が環境保全のために森林整備に関する協定を結んでから始まった植樹祭は5回目となり、植樹したトドマツは合計10万本になりました。

当日は青空の下、会員約70人が三豊の町有地にトドマツの苗400本を植樹。

室蘭市から家族で参加した女の子は「大きな木になってほしい」と期待を込めて植樹していました。



植樹を楽しむ家族

6/7 洞爺湖町少年の主張大会 高橋さん（洞中）が最優勝受賞

令 和元年度洞爺湖町少年の主張大会（洞爺湖町青少年健全育成連絡協議会主催）が役場防災研修ホールで開催され、自らの意見を発表しました。

最優秀賞には「自分自身変わる人」と題し、発表した高橋佑輔さん（洞中3年）が受賞。その他の入賞者は次のとおり。▽優秀賞 二瓶理桜さん（洞中3年）・佐藤裕也さん（洞中3年）・吉田遼夏さん（蛇中3年）・埴さくらさん（蛇中2年）・氏本凜さん（同）



自分自身の経験を話す高橋さん

5/30 5/31 まちの歩道をきれいに 雑草除去ボランティア

蛇 田地区の主要幹線道路である国道37号の歩道を綺麗にしようと、沿線住民や地元企業、役場職員、延べ約100人が参加し、雑草除去作業を行いました。

町に住んでる人も、町を訪れる人も気持ちよく感じられ、イメージアップにつながるようにと昨年から実施。

2日間とも午前7時から、草取り用の鎌やスコップを使い、縁石の隙間や電柱の根元に生えた雑草を取り除きました。



念入りに雑草を除去する参加者

6/12 洞爺湖温泉に10種類の苗木植樹 「緑はどうなった？」授業

自 然への理解や防災意識をはぐくむことを目的とした「緑はどうなった？」授業が小有珠川遊砂地周辺で実施されました。

洞爺湖温泉小学校の児童36人のほか行政関係者や砂防ボランティアなど総勢50人が参加。

児童たちは、ミズナラ、トチノキ、エゾヤマザクラなど10種類の苗木を合計60本、北海道科学技術大学岡村俊邦名誉教授たちの指導を受けて、直径3センチほどのサークルに植樹しました。



露崎先生のガイドを真剣に聞く参加者たち

6/11 洞爺湖すみれの会 ハンギングバスケットを設置

街 に彩りを添えるハンギングバスケットの製作を5月28日、入江緑化ハウスで行いました。ハンギングバスケットとは、草花などを植えた釣り鉢のことで、主に街路灯などに吊り下げます。

今回は、球根ベゴニアパターンやモイロトイキパターンなどさまざまな花を組み合わせ、56基制作しました。

作り上げたバスケットは洞爺湖温泉やJR洞爺駅前など28カ所に設置されました。



ハンギングバスケットを製作するすみれの会